

初秋の候 宮崎県防衛協会 青年部会 宮崎支部会員の皆様には恙なくお過ごしのこと、ご拝察申し上げます。また日頃より皆様には、当支部運営に際して格段のご高配を賜り、心より感謝を申し上げます次第です。

さて暑い夏も流石に峠を越した感が漂う季節と相成り、日ノ出時刻も先月と比較すれば約 50 分前後遅れ、早朝ウォーキングにもライトが必要となりました。夜明け前の最低気温も 25℃を下回り、いよいよ「スポーツの秋」近しと云った趣が致します。

ところで夏の甲子園も仙台育英の初勝利で幕を閉じ、104 年間の長い歴史上初めて深紅の大優勝旗が「白河の関」を超えるという、歴史的偉業を成し遂げた部員を待つ仙台駅は凱旋を祝う数多くのファンで埋め尽くされ、そのことを知らせる無料の号外新聞はネットオークションで 3000 円の高値を付けて売買されているそうです。

東北県民にとっては正に鶴首して待った朗報で有り、耐え続けること 104 年の思いが濃縮された至福の瞬間に立ち会えた喜びを記念・保存しておきたいと云うことなのでしょう。

先月の自衛隊関連行事は 15 日、宮崎県護国神社の大東亜戦争終戦慰霊祭と 27 日に京都で高等工科大学全国生徒育成会常任理事会が開催され参加致しましたが、宮崎～伊丹往復便は空席が目立ち、夏休み最後の週末で大混雑を予想していた京都市は観光客等も少なく、思いの外穏やかに過ごす事が出来ました。

県内部隊の各種記念行事等も「コロナ感染状況次第では中止」の前提条件は付くものの、先月ご案内を差し上げました 9 月 10 日の航空自衛隊高畑山分屯基地開庁祭や、12 月 4 日の新田原エアフェスタ等は今のところ開催が予定されています。

現在日米共同訓練が 8 月 14 日から 9 月 9 日の日程で、両軍合計 2100 名の陣容を整え、西方の各駐屯地や演習場で展開しており、特に奄美警備隊ではサイバー部隊による初めての共同訓練が今回の目玉のようです。

また 7 月 25 日から 28 日には、木更津駐屯地に暫定配備中の V-22 オスプレイ 2 機が、熊本の高遊原分屯地を拠点に飛来し、相浦駐屯地の水陸機動団との協同訓練を含む西方転地訓練を実施し、いよいよ「東シナ海波高し」の緊迫感が我々にも伝わってきます。

昔日「台湾有事は日本有事」と喝破された故安倍元総理のご慧眼通り、誠に無礼な中国の台湾封鎖演習に断固反対する、日米台 3 国の強固な団結と意志を示さねばなりません。

全国で 20 万を超えるコロナ感染患者全数把握にどんな意味があるのかもよく判りませんが、いま暫くは我々に出来得る感染対策を愚直に継続するしかなさそうです。

令和 4 年 9 月 1 日

宮崎県防衛協会 青年部会 宮崎支部長 小 倉 和 彦